

授業科目 成人急性期看護学演習

【担当教員名】 目黒 優子、金子 佳世 他		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】 急性の状態にある人々の特徴を理解し、必要な看護について判断して実施できる。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 周手術期に必要な看護技術を実施できる。 2. 心肺蘇生法が実施できる。 3. 急変時に必要な看護技術を実施できる。 4. 事例を通して急性期にある対象者の看護を系統立てる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1・2	急性期に必要な看護技術			1・2・3	講義・演習
3・4・5・6	周手術期に必要な看護技術			1	講義・演習
7・8・9・10	心肺蘇生法			2	講義・演習
11・12	急変時の看護技術			3	講義・演習
13・14・15	事例展開・まとめ			4	講義・演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		ナーシンググラフィカ 周手術期看護	山崎智子	メディカ出版	
		クリティカルケア看護学	池松裕子	ヌーベル広川	
		周手術期看護論	雄西智恵美	ヌーベルヒロカワ	
その他の資料					
【評価方法】 定期試験：40%、発表：40%レポート：20%、			【履修上の留意点】		